

# 厚木連合戸陵会だより

**AGG ネットのない 300ヤードの練習場 AGG**  
**厚木ゴルフガーデン**  
 代表取締役 藤原玲子(高30) 厚木市中萩野1185  
 ☎046-241-2882  
<http://www.golf-garden.com>

戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連合戸陵会) ●発行責任=石射隆宏●編集責任=難波角三 ●厚木市中町4-12-10 ☎046-223-3458

## 石川新体制スタート 平成23年度通常総会が 開催されました。



本部役員を含めて同窓生約110名の出席のもと、平成23年度の通常総会が6月25日(土)午

後1時30分から、厚木商工会議所において開催されました。総会では、近藤俊二(会長)が6のあいさつの後、本年4月に厚木高等学校長として着任した田中均校長(後藤祐一(高39)衆議院議員が祝辞を述べ、講演会の合間には、甘利明(高20)衆議院議員も駆けつけて、お祝いの言葉を送りました。

引き続き議事に入り、平成22年度の事業報告・決算、平成23年度の事業計画・予算を全会一致で承認しました。また、本年は役員改選の年度であり、選考委員長の廣木孝幸氏(高19)から新会長以下の役員が発表され、満場の拍手をもって新会長に石川範義(高10)以下役員が承認されました。

### 2011~2013年度 厚木高等学校同窓会役員名簿

|     |                          |                       |
|-----|--------------------------|-----------------------|
| 会長  | 石川 範義(高10)               |                       |
| 副会長 | 難波 浩(高11)、杉田 泰繁(高14)     | 曾根 秀敏(高14)、八木 一郎(高14) |
|     | 泊瀬川 孚(高14)、杉崎 秀夫(高17)    | 小島 富司(高18)、大井理恵子(高18) |
|     | 廣木 孝幸(高19)               |                       |
| 監事  | 金子 輝司(高15)、松永 光弘(高18)    |                       |
| 事務局 | 事務局長 伊藤 修治(高17)          | 事務局次長 石塚 修(高28)       |
|     | 会計 足立原 泰(高12)、足立 一彦(高17) |                       |

平成23年度の定期総会は、7月24日(日)飯山温泉元湯旅館に於いて各地区戸陵会から15名、ご来賓11名を迎え62名の参加を得て盛大に開催されました。ご来賓として、厚高同窓会の石川範義会長、同近藤俊二(前会長)をはじめ伊勢原戸陵会花田克雄会長、海老名戸陵会杉崎秀夫会長、平塚戸陵会落合重治会長、清川戸陵会石川武久会長、伊勢原戸陵会廣木孝幸副会長、愛川戸陵会梅沢文明副会長、そして学校側から田中均校長、佐々木武雄副校長、大沢利郎教頭各氏の臨席



石射隆宏 会長

を賜りました。総会は大貫副会長の開会の辞に続き、内田徳孝前会長のご逝去並びに東日本大震災で尊い命を落とされた方々のご冥福を祈り、一分間の黙祷を捧げました。その後、石射会長が挨拶されました。志村副会長が議長に選任され議事審議に入り、22年度活動報告及び決算報告、ならびに3年度活動計画案及び収支予算案とも慎重審議され満場一致で可決承認されました。続いて、今回は役員改選期でもあり、事務局から厚木連合戸陵会役員名簿案が提案され満場一致で可決され選任されました。

- 総会に引き続き続いての懇親会は和やかな雰囲気の中でおいしい料理とうまい酒で楽しいひとときを過ごすことができました。この席には、ご多忙の中後藤佑一衆議院議員と声楽家(バリトン)森口賢二氏が駆けつけてくださいました。懇親会の席上森口氏のミニミニコンサートが開かれ、近くで
- 聴いていて休中に響く音量あふれる歌声に多くの方々は酔いしれていました。後半はカラオケ大会となりマイクを持って消酒と歌い上げる会員もおり実に楽しい会となりました。
- 厚木連合戸陵会新役員**
- 会長 石射隆宏(南毛利・高14)  
 副会長 遠藤伸安(厚木・高10)  
 都高 泉依知(高17)  
 下川信好(睦合・高14)  
 花上 肇(荻野・高11)  
 志村昂二(小鮎・高15)  
 城所文洋(南毛利・高11)  
 高橋増次(玉川森の里・高11)  
 高橋 将相川(高14)  
 森久保純生(小鮎・高16)  
 平野亮二(睦合・高27)  
 足立原 強(厚木・高16)  
 二見政宏(相川・高16)  
 会計監査 足立一彦(睦合・高17)  
 藤野 心(厚木・高34)  
 小澤澄男(南毛利・高3)  
 梅澤行次(依知・高7)  
 神崎英男(荻野・高9)
- 幹事長 森久保純生(小鮎・高16)  
 事務局長 平野亮二(睦合・高27)  
 会計 足立原 強(厚木・高16)  
 二見政宏(相川・高16)  
 会計監査 足立一彦(睦合・高17)  
 藤野 心(厚木・高34)  
 小澤澄男(南毛利・高3)  
 梅澤行次(依知・高7)  
 神崎英男(荻野・高9)
- 顧問 藤野 心(厚木・高34)  
 小澤澄男(南毛利・高3)  
 梅澤行次(依知・高7)  
 神崎英男(荻野・高9)

後1時30分から、厚木商工会議所において開催されました。総会では、近藤俊二(会長)が6のあいさつの後、本年4月に厚木高等学校長として着任した田中均校長(後藤祐一(高39)衆議院議員が祝辞を述べ、講演会の合間には、甘利明(高20)衆議院議員も駆けつけて、お祝いの言葉を送りました。

- 会費 小島 聡(高33)
- アドバイザー 大塚 憲二(高18)
- 広報委員会 新役員**
- 委員長 難波 角三(高16)  
 副委員長 三橋 敬司(高18)  
 副委員長 池田 清(高19)  
 委員 毛利 澄夫(高20)  
 委員 頼住 道夫(高22)  
 委員 小島 勉(高22)  
 委員 齋藤 淳一(高30)

聴いていて休中に響く音量あふれる歌声に多くの方々は酔いしれていました。後半はカラオケ大会となりマイクを持って消酒と歌い上げる会員もおり実に楽しい会となりました。

さて、当会は来年3月創設10年という節目の年を迎えます。想えば母校創立13周年が1年後に迫る平成13年、地元厚木に支部組織がない、記念事業の成功には同窓生の6割を占める地元、確かな支部組織が必要だ、等の声が急激に高まってきました。翌年には世代を超えた有志の手に依り待望の地区戸陵会が市内八つの旧町村単位にいつせいに誕生しました。同時にこれらに一体感を持たせ、継続させるため、取りまとめ役として組織化されたのがこの厚木連合戸陵会でした。以来、歴代

厚木連合戸陵会会長 石射隆宏(高14) 最初に本号の発行に当たり、ご協力を頂いた同窓の皆様と新広報委員諸氏のご尽力に心から感謝申し上げます。

の役員は四代に及びます。いまや、土台づくりを終え、安定、発展段階にあります。幅広い親睦交流事業の推進、地区戸陵会の活動の支援、本部同窓会活動への積極的参加などを柱に母校の良き伝統を守り、仲間を大切に活動を進め、役員共々、一丸となって進めてまいります。会員皆様のご理解、ご協力を切に願います。次第です。

## 厚木連合戸陵会総会開催される

## 新体制発足に当たって

株式会社山善では個人建設から公共事業に至るまで、技術と真心でお客様に喜ばれる実績を残しています。

百世の安堵を図るために、日本には建設業が必要です。

社長ブログ更新中!!

**株式会社 山善**  
 YAMAZEN  
 TEL.046-288-1345 FAX.046-288-1222  
 〒243-0112 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 3041  
<http://www.yamazzen.co.jp/>

内科・循環器内科  
 ・心療内科

**厚木ハートケア  
 クリニック**

<http://www.atsugi-heartcare.com>

院長 循環器専門医 伴野富佐子(旧姓・難波)(高37回)

〒243-0203  
 厚木市下萩野1476-1ソルローマ本厚木1F  
 TEL 046-243-5533 FAX 046-243-5503

建物に関する全ての相談、土地の有効活用、コンサルティング既存建物の再活用、生涯設計まで

**吉川設計一級建築士事務所**

吉川 昭(高36回) 睦合戸陵会  
 厚木市妻田西1-20-8 K2ビル 201  
 ☎046-222-9333 FAX.046-222-9334  
 E-MAIL info@apo-yoshikawa.co

# 地区戸陵会新人事

今年役員改選の年。地区戸陵会新会長・新三役は次の通り決まりました。



厚木戸陵会会長 遠藤伸安(高10)

遠藤伸安(高10)

(略歴) 早大卒。30数年の凸版印刷(株)勤務を経て市内でテナントビル経営。現在、厚木地区遺族会役員を勤める。当年として72歳。半世紀前の高校生にとつて、上級生は雲の上の人たちであった。当然、登下校の挨拶は帽子を取り、自転車を下

りてするものだった。たまに、面倒だからと追い抜かれりすると、呼び止められ、こっぴどく叱られたものである。それだつたら、誰にでも愛想よくしておいた方が無難だ、という知恵も働き、頭を下げまくっていたら、同級生であつたりしたこともあつた。当時の上級生は、らしい雰囲気と貫禄をもっていたし、我々下級生は必要以上にオドオドしていたの



玉川・森の里戸陵会会長 高橋 増次(高11)

高橋 増次(高11)

(略歴) 昭和15年6月3日生。71歳。卒業と同時に横浜消防局に就職。先祖伝来の田畑を守り定年帰農。七沢ふれあいセンター

入口で野菜の直売場を経営JAあつぎ非常勤理事。当会は、連合各地区と同様100周年を契機に発足したものです。地域的にも会員数でも他地区と比べ小さなものです。前会長の言葉を借りれば「小さなところの、小さな会」というところですが、小さいが故にできるきめ細かい親睦がはかれるなど良いところもあります。特に今年、当玉川出身、高12

回卒の石井清剛の個展をフィンランド大使館、商工会議所、同窓会等多数の後援により玉川公民館で10月20日、26日開催されます。多数の方の観覧をお待ちしております。青春を語り、会員相互の親睦を図り、地域社会に貢献する等、会設立目的を達成するため、敷居を低くして老若男女誰でも参加できる会にしたいと思つていま



下川 信好(高14)

下川 信好(高14)

(略歴) 東京証券取引所場で立、その後パレル産業に転身、

定年退職に至る「遠くの親戚より近くの戸陵会」今年、東日本大震災がすべてですが、その中でも一番の教訓は、「二人では生きられぬ事」です。震災直後の報道や映像を通し、国内はもとより、世界各国の支援には感激しました。しかし、これらの援助が被災地に届くには、どう

しても時間が必要であり、なお一層地域社会の「絆」が大切になります。私たち戸陵会は、それぞれの道のプロフェッショナルの集団です。厚木連合を中心に連携を強化し何事にも対処できる組織だと思ひます。充実して人生を送るために、一人でも多くの戸陵会事業への参加を望みます。



花上 肇(高11)

花上 肇(高11)

(略歴) 本人の希望で割愛。当戸陵会のモットーは明るく楽しくです。誰でも気楽に参加し楽しめる会だと思つています。当会ではその一環として健康と親睦を兼ねて積極的に行事をやっています。その①ゴルフ大会 年2回(春

秋)毎回参加者20~30名。その②ハイキング・反省会 年1回(秋)大山・高尾山など。その③総会・親睦会 飯山温泉。それぞれの会では会話と酒がすすみ賑やかです。今年ほど「ハイキングしようか?おすすめのコースがあればご紹介をう。



依知戸陵会会長 都高 泉(高17)

都高 泉(高17)

(略歴) 慶応大卒。昭和42~45年民間企業で労務管理等に従事。45年、神奈川県公立中学校教員、社会科担当。依知中学校、愛川東中学校、南毛利中学校、林中学校等に勤務。平成十五年退職。平成17年、横浜保護観察所 厚木地区保護司を拝命。現在に至る。

(略歴) 駒沢大卒。昭和44年厚木市役所奉職。平成16年厚木市助役就任。同19年厚木市副市長就任。同20年退任。この度、梅沢、桜井両先輩の後を受け、若輩の私が第三任目の依知戸陵会会長を仰せ付けられました。真に僥倖なことであり、心苦しく思っています。来年は学校創立110周年の節目の年、当会としても連合戸陵会のお荷物にならないよう、裾野を広げながら絆を深めていきたいと思います。第二、第三の人生を戸陵会の仲間と一緒に活動しようではありませんか。



小淵戸陵会会長 志村 昂二(高15)

志村 昂二(高15)

(略歴) 高校卒業後、小田急百貨店に入社。法人外商部長等歴任。60歳で定年退職。

現在、池谷山光福寺総代、浄土真宗本願寺派東京教区区議員。(活動方針について)本年度の同窓会総会においてわが小淵戸陵会前会長、厚木商工会議所会頭でもある石川範義氏が同窓会長に、小島富司氏が副会長に選任されました。大変喜ばしい事とともに、わが戸陵会の責任の重さを痛感しているところ

文化・伝統を撮影すること。相川は比較的卒業生が少ない地域ですが、それを生かして会員相互の親睦をより密にするとともに、校歌にうたわれている鎌倉武士のいざ鎌倉の精神で同窓会や在校生の一助になればと思つています。

地区の皆様参加をお待ちしています。

本校出場陣の圧倒的な存在感! 青春かながわ校歌祭開催。9月23日、第6回目となる校歌祭は横浜・神奈川芸術劇場で開催された。小田原高校

主管の本年は全24校が出場。本校は在校生43名、同窓生教師を含め総勢150余名が参加。舞台上はゆうに100名を超す陣容。20数名の応援団OBの現役時代と変わらぬ指揮による歌唱、演技は圧倒的な存在感を示し、会場の拍手はどこにもまして大きかった。

小淵戸陵会として、同窓会、厚木連合戸陵会の年間行事参加また、同会の冬季研修会・懇親会以外に新たにゴルフコンペの開催等で会員のさらなる親睦を図ろうと考えています。また、同窓会本部より女性理事の選出要請を受け、山本智子氏(高28)を推薦し、当会としても今後女性の参加を積極的に進めてまいります。

名調子で自慢できるものでありました。古希を過ぎた今年の夏は厚高合宿に近藤俊二先輩らと参加。一緒に練習、試合をやった。古希を迎えたOBが現役とプレイするなど他部では考えられないことと思つた。現役に喝を入れる良い機会になった。会長就任のこの機会にテニスで培った体力に物言わせ、元気流刺の同総会にしていくつもりである。よろしく!

|             |             |
|-------------|-------------|
| 委員長         | 中山 和男(高26回) |
| 副委員長        | 大貫 亨(高17回)  |
| 林 賢(高13回)   | 高瀬 賢士(高16回) |
| 本杉 貴生(高17回) | 黄金井哲也(高18回) |
| 上原 誠(高20回)  | 小塩 恒夫(高22回) |

|     |             |
|-----|-------------|
| 会長  | 遠藤 伸安(高10回) |
| 副会長 | 飯田 善一(高12回) |
| 副会長 | 石塚 武(高14回)  |
| 副会長 | 足立原 強(高16回) |
| 副会長 | 池田 清(高19回)  |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 高橋 将(高14回)  |
| 副会長  | 二見 政宏(高16回) |
| 幹事長  | 山口 晴久(高16回) |
| 幹事長  | 山口 正春(高17回) |
| 事務局長 | 山口 正春(高17回) |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 都高 泉(高17回)  |
| 副会長  | 座間 清二(高10回) |
| 副会長  | 後藤 功(高14回)  |
| 副会長  | 三橋 敬司(高18回) |
| 幹事長  | 久崎 教生(高14回) |
| 事務局長 | 山口 義章(高15回) |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 高橋 増次(高11回) |
| 副会長  | 後藤 功(高14回)  |
| 副会長  | 三橋 敬司(高18回) |
| 幹事長  | 久崎 教生(高14回) |
| 事務局長 | 山口 義章(高15回) |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 下川 信好(高14回) |
| 副会長  | 足立 一彦(高17回) |
| 副会長  | 小宮 恒夫(高17回) |
| 事務局長 | 山岡 清(高21回)  |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 志村 昂二(高15回) |
| 副会長  | 森久保純生(高16回) |
| 幹事長  | 小島 富司(高18回) |
| 副会長  | 伊藤 桂(高16回)  |
| 事務局長 | 頼住 道夫(高22回) |

|      |             |
|------|-------------|
| 会長   | 花上 肇(高11回)  |
| 副会長  | 三平 明彦(高14回) |
| 副会長  | 三橋 裕二(高16回) |
| 副会長  | 毛利 昇(高16回)  |
| 副会長  | 諏訪 寿夫(高16回) |
| 副会長  | 田口 徹(高17回)  |
| 副会長  | 石上 純男(高20回) |
| 副会長  | 花上 統正(高22回) |
| 事務局長 | 伏見 清(高18回)  |

|     |             |
|-----|-------------|
| 会長  | 城所 文洋(高11回) |
| 副会長 | 石射 隆宏(高14回) |
| 副会長 | 小淵 正志(高18回) |
| 幹事長 | 高澤 浩道(高15回) |

## つるくぼ 耳鼻咽喉科



日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長  
医学博士 鶴窪一行 (高26回)

診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22  
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

検診の一枚の心電図が命を救う。



今岡千栄美(高28)  
今岡医院院長(循環器内科)

(略歴) 東海大学医学部卒。同大学院卒。循環器内科入局。学位取得後、地元伊勢原共同病院に10年間勤務。後、自宅にて開業。現在に至る。

循環器内科が扱うのは心臓。まさに時間との闘いになります。心筋梗塞、狭心症、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、様々なタイプの心不全。

# ~中高年の同窓諸氏へ~ 医者の養生訓

「めまい」には「寝不足」「ストレス」に要注意!



鶴窪一行(高26)

つるくほ耳鼻咽喉科院長  
(略歴) 日本医科大学卒。厚木の中心地中町に開業して20年になる。日本医科大学の講師も勤める。

毎日いろいろな患者さんを診ます。その中で一番手のかかる病気の二つが「めまい」です。まずどんなに強い訴えがあっても、検査上は全く異常がない場合が多々あります。また、いつから発症したかが患者さん自身にもはつきりしない場合も多くみうけら

どれも待たなしになるケースが多々あります。今まで昼夜を問わず数々の症例と対峙してきました。仮眠時の呼び出しから如何に早く頭と身体を臨戦態勢にするかが課題だった時期もあります。しかし、心臓症例は施術によって劇的に回復します。生死の境目から元氣いづばいの笑顔を取り戻されるのを見るのは、何にも勝る喜びです。

## お坊さんの養生訓



伊藤法之(高18)

仙寿山福蔵院住職  
(略歴) 大正大卒。昭和45年〜平成16年3月神奈川県社会福祉事業団勤務。平成16年〜仙寿山福蔵院住職。  
56歳から寺の住職となった機会に、今までの生活リズムを180度転換、自身の体内時計を新たに完成させようと努めた。ご本尊前に大声で念仏読経、清掃等で体力づくり。1日の生活時間を極力身体に覚えさせた。食事の時間や食事の内容に特に留意しながら、ストレスが溜まらない程度の趣味などで息抜き

られます。さらに、いつ治ったかが断定できない場合も散見します。原因がはっきりしないことが大部分なのです。結局、時間をかけてゆっくり話をしてその患者さんの背景をつかむことが一番重要となります。これは非常に時間のかかる作業です。現在の日本の医療体制では患者さん一人一人に充分な時間をかけることは不可能に近いのです。まあ、「めまい」に限ったことではありませんが、「めまい」を訴える人に共通するのは「寝不足」「ストレス」「季節の変わり目」です。  
まだまだ温度差の激しい時期が近づきます。皆様、暴飲暴食を避け、規則正しい生活を心がけてください。ほとんどの病気がなつてから治すよりならないように予防する方が簡単なのです。皆様、「自愛あれ」  
診療所 厚木市中町3-3-22  
電話 046(221)4187

医療現場では技術や知識に加え、フットワークや連携、目頃の気付きが活きることもあります。大病院、一般病院、自宅医療という三様の現場経験は財産です。「予防医療」がクロージングされる時代。健康の一枚の心電図が命を救います。皆様もこの健康だけは怠らず実践してください。  
診療所 厚木市愛甲2-7-7の2  
電話 046(248)1046

生活習慣病が最大の敵。



箕浦宏彦(高22)

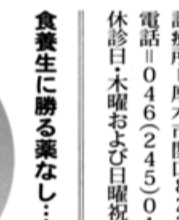
箕浦マデイカクリニック院長  
(略歴) 北里大学医学部卒。北里大学病院 一般外科、北信総合病院 外科、湯河原厚生年金病院 外科(医長) 国立相模原病院 外科(医長) 等を経て、二代続いた衛生医

生生活習慣病といわれ、不健康な生活習慣がその多くの要因とされ身体活動、運動不足、不適切な食生活、喫煙、過度の飲酒、ストレス、などにより中高年の肉体を徐々に蝕み、ドミノ倒しのようになり、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、失明、腎不全、これによる透析が必要になり、最後は生命を脅かす、ドミノを倒してしまうのです。生活習慣病は気付かないうちに進行し、いつの間にか致命的になります。早い時点でドミノ倒しを止めるには倒れそうなるドミノを見つけたら、すなわち健康を受けて、適切な保健指導のもとに自分の健康管理をしましょう。

胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん、なども検診で早期発見をすれば克服できる時代です。予防に向けた正しい知識を持ち、定期的にチェックを受け予防をして健康な運動、適度な食事、適度な飲酒、適度なストレス、などが身体と心の健康には大切です。但し医学的な許容範囲が前提です。具体的にはウォーキングで一回に20分〜1時間、一日の分量は8g以内で、目標6g、一日の摂取カロリーは適体重あたり、25〜30kcal、アルコールは日本酒で一日一合弱、ストレスは睡眠障害や食欲低下をきたさない程度です。これを踏まえ各自の身体状況に応じ適度な量を設定します。

健康維持には「適度」が何より重要。  
伴野富佐子(高37)  
厚木ハートケアクリニック院長  
(略歴) 東京女子医科大学卒(91年)。同時に、東京女子医科大学病院 心臓血管圧研究所 内科(現・循環器内科) 入局。05年、厚木市内に開業。  
自らは若いと思っているもの、ふとした時に、ああ、歳だな、と思う経験は誰にでもあると思います。気持ち若くとも身体は着実に歳を取り、運動能力だけでなく代謝も加齢に伴い低下します。私は健康維持には「適度」という言葉が重要と考えます。適

康的な暮らしをしましょう。



高橋力(高18)

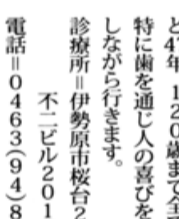
たかはし歯科院長  
(略歴) 神奈川歯科大卒。卒業後、平塚の高橋歯科医院に3年間勤務。昭和50年7月、27歳で伊勢原市内に開業。スポーツマンで、シニア世界陸上競技に出場したり、ゴルフも長く、シングルプレイヤー。

中高年諸氏への養生訓  
(健康、検診)のすすめ  
高血圧症、糖尿病、高脂血症は所謂生活習慣病といわれ、不健康な生活習慣がその多くの要因とされ身体活動、運動不足、不適切な食生活、喫煙、過度の飲酒、ストレス、などにより中高年の肉体を徐々に蝕み、ドミノ倒しのようになり、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、失明、腎不全、これによる透析が必要になり、最後は生命を脅かす、ドミノを倒してしまうのです。生活習慣病は気付かないうちに進行し、いつの間にか致命的になります。早い時点でドミノ倒しを止めるには倒れそうなるドミノを見つけたら、すなわち健康を受けて、適切な保健指導のもとに自分の健康管理をしましょう。

胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん、なども検診で早期発見をすれば克服できる時代です。予防に向けた正しい知識を持ち、定期的にチェックを受け予防をして健康な運動、適度な食事、適度な飲酒、適度なストレス、などが身体と心の健康には大切です。但し医学的な許容範囲が前提です。具体的にはウォーキングで一回に20分〜1時間、一日の分量は8g以内で、目標6g、一日の摂取カロリーは適体重あたり、25〜30kcal、アルコールは日本酒で一日一合弱、ストレスは睡眠障害や食欲低下をきたさない程度です。これを踏まえ各自の身体状況に応じ適度な量を設定します。

但し、タバコは例外です。健康維持にタバコは厳禁。これは近年増加している肺がんをはじめ様々な癌や、脳卒中などに影響します。  
健康であるには、目頃の心がけと行動が少しずつ必要です。  
診療所 厚木市下野1-4-76-1  
ソルローマ本厚木B号棟1F  
電話 046(243)5533  
メールアドレス  
heartcare@atsugiclinic.com

すべて患者さんに還元してします。あと47年、120歳まで全生を現役で、特に歯を通じ人の喜びを我が喜びとしながら行きます。



林正博(高18)

林正博(高18)  
林医院院長  
(略歴) 昭和大学大学院卒。医学博士。昭和大学第三内科(循環器)、関東労災病院循環器内科副部長、昭和大学第三内科兼任講師、関東労災病院看護学校講師、同健康センター部長、同産業医など歴任。神奈川県社会保険診療報酬請求審査委員も務める。  
05年より林医院5代目院長となり現在に至る。現在、厚木内科医会会長、厚木医師会理事。他に社会福祉法人理事、産業界、学校校医等。

小生、養生訓などを語れるほどに長生きしてないので難しい。替わりに医学的に長生きできるのはどんな人かを以下に掲げておきます。まず腹八分目で太りすぎず、痩せすぎず、カーツとなる性格は、心穏やかに修正を心がけ、健康は年一回は必ず受けて、特に癌検診も怠らない。タバコは吸わず、アルコールは飲まないか少量をたしなむ程度。睡眠時間は7〜8時間、そして週5日〜6日は30分以上散歩または運動を行っている人。これを若いうちから実行している人は長生きできる。少しでも悪いところがあれば医師の適切な指導の下に治療を絶やさず続ける。以上のことを実行して、是非健康寿命を延ばしてください。

診療所 伊勢原市板台2丁目22の1  
不二ビル201号  
電話 0463(94)8888  
メールアドレス  
tomsophia@yahoo.co.jp

**40th Thanks! Mister Donut**  
もっといいこと。  
**携帯メール会員大募集**  
会員登録は、ミスド携帯サイト (I-misdo) から  
<http://www.i-misdo.com>  
パソコン <http://www.misterdonut.jp>

**ミスタードーナツ 本厚木ミロードショップ**  
0922  
小田急本厚木ミロード中央館1F  
TEL.(046)230-3180  
営業時間 AM6:30~PM10:00  
備フイン・フード・サービス  
代表取締役 満呂木 孝一(中41回)

小田急本厚木駅  
南口  
本厚木ミロード  
中央館1F 中央改札口  
北口  
ミスタードーナツ 本厚木ミロードショップ

**株式会社 神奈川県都市開発研究所**  
(社団法人 日本不動産鑑定協会会員)

代表取締役 不動産鑑定士 **三平 治憲** (高24回)

〒243-0017 神奈川県厚木市栄町1丁目16-12 あいおい損保厚木ビル5F  
☎046-222-8807 FAX.046-222-8809

**サンパートナーズグループ**

●税理士法人 サンパートナーズオフィス  
税理士 新川 勉(高30回)  
平野 社司  
吉田 歌純(高37回)  
☎ 046-226-9980  
FAX.046-227-6868  
<http://www.sunpart.jp/>

●サンパートナーズオフィス 社会保険労務士事務所  
社会保険労務士 森田 静江  
☎ 046-226-5677

●サンパートナーズオフィス 行政書士事務所  
行政書士 平野 社司  
☎ 046-226-9980

●有限会社 サン不動産  
代表取締役 新川 正春  
☎ 046-226-7017

〒243-0014 厚木市旭町1-22-8 FMビル1F

# 活躍する同窓生 著作物と近況

(文化・芸術編)



**遠き日はきみに思いを寄せしこと  
からから鳴りてこの耳に澄む**

幹夫

がない。虚弱軟弱の少年だった。模範で1時間30分以上かけ橋本駅から通う電車には毎日うんざりした。ディーゼルエンジンの匂い何度か吐いた。さらに車中の階級格差。毎朝6時55分、始発の向い合わせ席に友人とゆとり座るのだが、上溝駅で下駄履きの柔道部の屈強な先輩たちが乗り込んでくると後輩は、帽子を脱ぎ、挨拶と同時に席をゆする。

いつかの駅を過ぎて、最上級生が入ってくる。今度は先ほどの先輩がさつと席を立つ。まるで軍隊だ。これを賞賛剛健という。

小田急線の連絡が悪いために駆け上る階段の途中で、本厚木行き電車はとどろき相模線組み置き去りにする。(その置き去り感覚が今でも残り、夢にしばしばこの乗換え地点が現われる。)その後は、相模川にかかる相模大橋を必死で走る。橋を渡りきると本厚木発のバスがやってくる。乗り遅れると戸陵の丘まで徒歩で登る。時間と金の節約、脚力は1年で鍛えられ、2年時の全校マラソンで44位になった。これを賞賛剛健という。

ごく親しい友人に作家が詩人にならな

ると叫びた。大学受験に失敗し、作家は諦めた。小説は生々しい現実から離れられぬ。粘着性の強い現実から離れたかった。小説より短いものに心が揺れた。詩である。特にフランス詩のランボーや日本の西脇順三郎に播きぶられた。詩は現実を加工し、短く作り変える面白さに富んでいる。文学の最短形式は俳句だが当時足定したばかりの「あふりね短歌会」で中村菊一・高橋武彦両先生から俳句短歌の教えを受けた。短歌に夢中になったが、俳句の情を断ち切る剛毅と俳味も好きだ。この傾倒が心を弱くしたのかもしれない。これを賞賛剛健という。半世紀前の少年は虚弱軟弱の身をもてあまし氣味に短歌的抒情を生きていた。

**厚木市生まれで唯一の  
全国版俳句誌「海原」の主宰者。**



木内 怜子(高6)俳人  
(略歴) 女子栄養大卒。昭和37年頃より俳句を始める。46年「海原」入会、秋元不死男に師事。後に同人53年「狩」創刊に同人参加。鷹羽狩行に師事。60年、第8回俳人協会新人賞受賞。平成6年「狩」退会。7年4月「海原」を厚木市内にて創刊。副主宰。17年、夫君で主宰者の木内彰志逝去に伴い主宰となり現在に至る。

母の嫁入り衣装などみな福から紡ぎ、織染めに出したという。このような自註の文がある。この厚木愛甲地域の歴史を感じさせてくれ、懐かしく切なさを感じる俳句です。この地域は元々俳句がかなり盛んな土地柄で、あの芭蕉が活躍していた直後から、四川親玉河、五相園丈水といった宗匠が江戸の中頃から活躍し、その影響は県内全域に及んでいたと言われています。明治以降も白田重浪の「石楠」の元に多くの俳人が出現しています。その中の有力俳人に市内妻田を拠点に活動していた河原(主宰の川島徭子)がいました。主宰の逝去に伴い「河原」は消滅しますが、この俳句結社の同人たちが厚木から俳句の火を消したくないと、俳壇ではすでに全国に名前が知れた、木内彰志、怜子夫妻に呼びかけ「海原俳句会」が結成されました。平成7年のことでした。しかし、これからという矢先、同志であった夫君の彰志さんを6年前に失ってしまいました。

この地区の俳句伝統に誇りを持ちつつ、若い世代の人たちの参加を推奨。俳句の裾野を広げて行きたいと見果てぬ夢を語る木内さん。俳句への愛着と強い意志。眼は輝いていました。



隔月刊誌 年¥8,000円

薄き草鞋で歩くこと38年。都立高校の教師にひいて義太夫語りの。歌謡伎、日本舞踊の舞台を席巻する井澤圭一さんの天賦の才。



思潮社刊

と。ところで、私は昭和33年から平成6年まで都立高校の教師だった。子供の頃から歌舞伎を観るのが好きで、近隣の祭礼の田舎歌舞伎へはどへでも観に行き、学生時代からは大歌舞伎や文楽を観て、義太夫大好き人間になつたのだ。就職2年後、文楽の長老三味線の野澤喜左衛門の紹介で、伊勢原に住む豊竹仙照という女流の太夫に入門した。長老の話では、文楽の最高の太夫である豊竹山城少嬢と同等の芸のある大坂の豊竹小仙という女流。義太夫の第一人者がいるが、その最初の門弟が仙照なので、その芸が保障するということだった。私はこの師匠の指導によって稽古を始め、4年目にNHKの邦楽オーディションに合格した。東京オリピックの年であった。それから数年後の大坂万博の頃だったと思うが、文楽の太夫になれたいという話が出たのである。後継者不足と美声の



井澤圭一(高6) 義太夫語り

太夫がないというところから、私に声がかかった。竹本津太夫と野澤勝太郎両師が中心になって推進されたので、私は文楽太夫の研修生ということになった。少量の研修費も支給された。ところが2年後、文楽の太夫の一人が文部省へ直訴した。後継者として美声の素人を入れるようだが、それでは今まで苦学して努力した者達から不満が出、脱退者も出るような破目になるかも知れないから、この話は中止すべきだということだった。この時、直訴した人こそ現在の太夫の第一人者になってしまったのである。その後、今度はいずれの太夫から話 came ののである。竹本太夫師からだった。中村歌右衛門さんが正月の歌舞伎の「紅葉狩」に出られるので、私のツレ語りとして貴男を推薦したいとのことだった。昭和48年の正月であった。これが私の竹本太夫としての初舞台となったのである。

昼は高校で国語を教え、夜は歌舞伎座へという二足の草鞋が始まったのだ。この年は3月に国立劇場。12月に帝劇という多忙な年だった。その後の私は、歌舞伎以外に日本舞踊の義太夫に引張り出されるようになり今日に至っている。いつか片岡秀太郎さんが歌舞伎の義太夫は語りか、誰か人が多いが、あなたのは義太夫らしい語りであったよと褒めてもらったことがあったが、義太夫のどの曲にどんな心があるのか、その気持ちを忘れることのないように、自分なりに語っている。そして、自分は小仙の孫弟子なのだというのも忘れずに語っている。

**八木幹夫(高17)詩人**  
(略歴) 相模原市出身。明治学院大英文科卒業。在学中、入沢康夫(弘文)新倉俊一(英文)両氏より英詩への刺激を受け詩作開始。市内中学の英語教師のかたわら詩作を続ける。詩歌文学館賞、現代詩人賞、H氏賞選考委員を歴任。現在、丸山薫賞選考委員。本年8月まで会員千人を持つ日本現代詩人協会理事長を務め現代詩の普及発展、国際的活動の牽引役を担ってきた。神奈川近代文学館理事、愛知淑徳大学大学院の非常勤講師、歴任同人。

**井澤圭一(高6) 義太夫語り**  
(略歴) 東京学芸大学芸学部卒。町田市の小学校教員2年、中学校教員3年その後都立高校の教師となり、55歳で退職。昭和36年頃より義太夫語りを始め現在に至る。

**木内 怜子(高6) 俳人**  
(略歴) 女子栄養大卒。昭和37年頃より俳句を始める。46年「海原」入会、秋元不死男に師事。後に同人53年「狩」創刊に同人参加。鷹羽狩行に師事。60年、第8回俳人協会新人賞受賞。平成6年「狩」退会。7年4月「海原」を厚木市内にて創刊。副主宰。17年、夫君で主宰者の木内彰志逝去に伴い主宰となり現在に至る。

**八木幹夫(高17)詩人**  
(略歴) 相模原市出身。明治学院大英文科卒業。在学中、入沢康夫(弘文)新倉俊一(英文)両氏より英詩への刺激を受け詩作開始。市内中学の英語教師のかたわら詩作を続ける。詩歌文学館賞、現代詩人賞、H氏賞選考委員を歴任。現在、丸山薫賞選考委員。本年8月まで会員千人を持つ日本現代詩人協会理事長を務め現代詩の普及発展、国際的活動の牽引役を担ってきた。神奈川近代文学館理事、愛知淑徳大学大学院の非常勤講師、歴任同人。

**石井 清(高11) 洋画家**  
(略歴) 武蔵野美術大卒。63年からフィンランドを中心に北欧遊学。以来毎年北欧に滞在。大学卒業後、TBS美術部に在籍。のち画家として独立。75年、東京銀座で初の個展。以後ストックホルム、ヘルシンキや三越、伊勢丹など全国各地有名百貨店で数多くの個展を開催。02年には厚高百周年記念個展も開催。日本フィンランド協会会員。

然がテーマになって描かれている。「美大生の頃からフィンランドを訪れ自然をテーマに描いていました。フィンランドは神秘的な森と湖に囲まれた豊かな自然ばかりでなく、教育福祉、IT関連の先進国で、親日の国でもあります。ここに魅せられるのは玉川の自然の中で育まれた感性に呼応する共通のものがあろう。略。これは、今回の個展に寄せた石井さん本人のコメントであるが、玉川とフィンランドという二つのふる里を愛して止まない石井さんの熱い思いを感じることが出来る個展となるだろう。

**石井 清(高11) 洋画家**  
(略歴) 武蔵野美術大卒。63年からフィンランドを中心に北欧遊学。以来毎年北欧に滞在。大学卒業後、TBS美術部に在籍。のち画家として独立。75年、東京銀座で初の個展。以後ストックホルム、ヘルシンキや三越、伊勢丹など全国各地有名百貨店で数多くの個展を開催。02年には厚高百周年記念個展も開催。日本フィンランド協会会員。

母の嫁入り衣装などみな福から紡ぎ、織染めに出したという。このような自註の文がある。この厚木愛甲地域の歴史を感じさせてくれ、懐かしく切なさを感じる俳句です。この地域は元々俳句がかなり盛んな土地柄で、あの芭蕉が活躍していた直後から、四川親玉河、五相園丈水といった宗匠が江戸の中頃から活躍し、その影響は県内全域に及んでいたと言われています。明治以降も白田重浪の「石楠」の元に多くの俳人が出現しています。その中の有力俳人に市内妻田を拠点に活動していた河原(主宰の川島徭子)がいました。主宰の逝去に伴い「河原」は消滅しますが、この俳句結社の同人たちが厚木から俳句の火を消したくないと、俳壇ではすでに全国に名前が知れた、木内彰志、怜子夫妻に呼びかけ「海原俳句会」が結成されました。平成7年のことでした。しかし、これからという矢先、同志であった夫君の彰志さんを6年前に失ってしまいました。

この地区の俳句伝統に誇りを持ちつつ、若い世代の人たちの参加を推奨。俳句の裾野を広げて行きたいと見果てぬ夢を語る木内さん。俳句への愛着と強い意志。眼は輝いていました。

母の百周年記念の年には、一年をかけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年をかけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年をかけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年をかけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年かけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年かけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年かけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年かけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

母の百周年記念の年には、一年かけて厚高周辺を徹底取材、数十作品を作り上げ、個展開催へとこぎつけた。また、作品の一部が絵葉書セットとして流通したので石井清さんのパステル画を思い出される方は多かるうと思う。今回は10年ぶりのふる里での個展になる。本人の生まれ育った玉川地域の自然、青年期から現在に至るまで自らの創作の原点であり、活動拠点にもなっているフィンランドの自

丹沢大凸国定公園  
七沢温泉・民話の里

# 元湯玉川館

243-0121 神奈川県厚木市七沢2776  
TEL.046 (248) 0002  
FAX.046 (247) 0002  
<http://www.tamagawakan.co.jp>

望みが沸き、趣きに親しむ  
かくれ里の隠れた魅力。

## あつぎ飯山温泉 元湯旅館

代表取締役 石川範義 (高10回)

神奈川県厚木市飯山4916  
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975  
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL <http://www.motoyu.co.jp/>

厚木市優良施工店賞受賞  
神奈川県優良水道設備店賞受賞  
神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

# 住まいの快適

## リフォーム増改築

株式会社 **小林リビング**  
代表取締役社長 小林知弥 (高8回)

厚木市山際570 (R129山際交差点隣) ☎046-245-3261